

令和6年度第5回 次期総合計画等策定委員会

令和7年2月3日（月）
市役所3F 3A・3B会議室

1. 進捗状況の協議会報告について..... 資料1

2. 次期創発プランへの掲載事業について

- 次期創発プランに掲載する各課の事業の照会について..... 資料2
- 創発プランからの引継事業について..... 資料3

その他

前回のふりかえり

1. 土地利用構想について

第3次総計から続く4圏域の考え方と、ゾーン分けの取扱いについて議論した。4圏域については、圏域の増減・削除は行わず次期総計でも地域区分として継承することとし、ゾーン分けについては、次期総計から削除し都市マスで担うこととした。

<主な意見>

上の方向性については意見なし。圏域を「地域」と呼び変える場合は、「地区」などの似た用語との混乱が生じないように使い分けられたい。

⇒留意して策定作業を進めていく。

2. 将来都市像・施策体系について

市民アンケートや学識ヒアリング等により得られた意見をもとに、将来都市像の案を示した。また、将来都市像の実現のための施策体系案を示し、総計と創発との関連・役割分担についての案を提示した。

<主な意見>

将来都市像については、「自立」「共生」といった要素が薄いように感じた。このような内容も盛り込んでほしい。

⇒そのような要素も盛り込んだ案を作成する。

部や課などの組織が複数の施策体系にわたらないようにした方が計画の管理がしやすいと思うが、そのような考えはあるか。また、施策体系にあわせた機構改革は予定しているのか。

⇒そのような整理ができれば理想であるが、将来都市像の実現という目標からブレイクダウンして考えた場合、組織が分離してしまうこともやむを得ないと考えている。また、総計の施策体系にあわせた機構改革は現時点では考えていない。

3. 次期創発プランへの引継事業について

現創発プランに掲載されている事業のうち、次期創発プランに引き継いでいく必要がある事業を事務局でリストアップした。今後、原課と調整しながら引き継ぐ事業を決定していくことを報告した。

<主な意見>

次期計画期間中に創発プランに事業を盛り込む場合の基準を整理されておきたい。

⇒和泉創発プランの計画期間を含む中・長期の財政収支見通しに大きな影響が想定される事業」の条件に似た形で整理する想定であるが、現時点では未整理であるので今後検討する。

事業レベルで創発プランから削除するものであっても、テーマとしては継続して取り組んでいかなければならない施策もある。市が取り組むテーマと、その実現のための事業とは明確に区別しておいてほしい。

⇒現創発プランの掲載事業は、施策とテーマが混在しているので、次期プランでは、事業の打ち出し方、見せ方について、今後整理していく。

事業レベルのスクラップアンドビルドも大切だが、個別事業のミクロの視点でなく、もっと大きな観点からの財政健全化も大切である。

⇒マクロの視点での財政健全化をどのようにプランの中に落とし込んでいくかは今後検討する。